

島浪かへる

(大正三年桜星会歌)

木原均君 作歌
岩崎直砥君 作曲

一

島浪^{しまなみ}かへる北溟^{ほくめい}さして
石狩^{いしかり}の水末^{みづすゑ}遠く
霞^{かすみ}のあなた流るゝ郷土^{くど}に
あけくれなれし我友^{わがとも}の
學^{まな}びに集^{つど}ふ楡影^{ゆえい}の庭^{には}に
絢爛^{けんらん}の春^{はる}またおとづれぬ

二

春陽^{しゅんやう}のもと下崩^{したも}えそめて
遙^{はる}かなるかな我思^{われおも}ひ
無相^{むそう}の智慧^{ちゑ}を追^おひ求めつゝ
無明^{むみょう}の闇^{やみ}をわけ入りて
生命^{いのち}の流れ^{なが}深くも進^{すす}む
雄々^{をを}しき學徒^{がくと}こゝ北^{きた}にあり